



Interview
Kazutoshi
Tanaka

福智町青少年育成町民会議は「指導部会」「研修部会」「家庭部会」の3部会で活動しています。指導部会は警察等と連携した補導活動、研修部会は夏冬の「少年のパス」など子どもたちを対象にした事業、家庭部会は「親子で楽しむ夕べ」「わたしの主張大会」「青少年健全育成講演会」など保護者を含めた事業を展開しています。このような活動の中で実感するのが、まず実態把握の大切さです。子どもたちは悪い雰囲気染まりやすい分、早い段階であれば立ち直らせることができます。しかし、手に負えない状況になってからでは遅いのです。早めに芽を摘み、手を打たなければなりません。また規律やルールを守ることも必要です。自由だからといって、とんでもない服装や髪型の小学生や幼児がいるじゃないですか。親がさせておいて、中学生になって「まじめにしろ」なんて言っても聞きませんよ。大人たちによる「負の情報の閉鎖」と「無規律な自由」が、子どもたちの環境をますます悪くしています。やはり、親や大人の意識改革、情報と危機感の共有が大事だと思います。

いま求められるのは、親や大人の意識改革、情報と危機感の共有。

平成20年度 **福智町青少年健全育成講演会**

料理研究家・TVコメンテーターでおなじみの山際千津枝さんが「美味しい食育」と「心身の育み」について講演します。魅力あふれる貴重な時間、ぜひご来場ください。

2月27日 金 午後7時～
参加無料

福智町地域交流センター

主催／福智町青少年育成町民会議
☎ 福智町教育委員会 生涯学習係 ☎ 28-2046



講師 料理研究家 山際千津枝さん

演題 **人生を美味しく食べよう**
「食育で子どもの心と体を育む」

【山際千津枝さん】料理研究家・栄養士・山際生活デザイン研究所主宰。現在、メニュー開発、執筆、講演、公的機関の委員、テレビ番組、ラジオのコメンテーターとして多方面で活躍中。生活感あふれる話題とユーモアに富んだ話しが人気を集めている。「FBS めんたいワイド」「FBS 金曜テレビアン100円レシピ」などに出演中。著書・執筆多数。

保護者のみなさんへ

口に出せない
サインへの気づき

子の育での基本は、子どもに目をかけ、手をかけること。「目をかける」とは日々子どもに関心を持ち、親を必要としているときに、気づくことです。目をかけていればいつもと様子が違っていてもわかりません。そんなときは、自分がしていることを中断してでも時間をさいてあげるべきです。子どもが発する小さなサイン「OS」を見逃さないでください。また「手をかける」とは、甘やかして子どもがすべきことに手を出すことではありません。一緒に行動し、泣いたり笑ったりする時間を持つことです。

本来、物事の判断がつかなくなってきたら、しつけの手をゆるめていくのが子育てのプロセス。少年の問題行動にある根っこの部分は幼児期から積み上げられたものです。愛情あふれる信頼関係としつけは幼児期までにすべきこと。しかし、子どもが成長するにつれ「心配だから」と、とやかく口を出すケースが増えていきます。子どもが成長の過程で自我を育て自己実現への道を歩み始めていることを認め、適度な距離でサポートするのが親の役目です。

子どもの青年期は「社会化」という人生上の課題と「個性化」という内からの本能的欲求との狭間で葛藤し、心理的に不安定な状態にあることを理解してあげてください。

い。そしてシンナーという乱用薬物の存在が子どもの身近にあるかもしれないという意識も持っていてください。

ふべちの子どもたちへ

自分と今と後の
人生を大切に

まず自分を大切にしてください。「努力したって無理」「いま楽しければいい」と投げやりにならないで。自分のいいところを伸ばし、将来本当にやりたいことや目標を見つけてください。また、自分のカラに閉じこもらないで、時には口に出して大人に本音を伝えてください。

厳しいようですが、社会の現実が甘くはありません。多くの場合、10代で何をしたら、何を目指したかで、その後の人生が変わります。いま女性の平均寿命は約86歳、男性は約79歳です。つまり、いま何をしているか、あと数年何をするか、残りの60年間の生き方に大きく跳ね返ってきます。そんな、人生で一番大事な時期だからこそ、親だけでなく、いろいろな人たちが気をかけ、心配するのです。遊ぶことは楽しいし、現実から逃げることは楽です。しかし、それでいいか考えてみてください。

将来苦しんだり後悔するのはほかのだけれどもない自分、あなたです。そして薬物乱用という選択は自分の存在すらなくしてしまう取り返しのつかないことだということを決して忘れないでください。



1月から町の車両2台が巡回

青パト始動

「青パト」は青色回転灯を付けた自主防犯パトロール車。青少年育成町民会議指導部会と教育委員会職員が乗車し、警戒・危険箇所を見回ります。1月に車両2台が許可を受け、定期的に巡回を始めました。地域の防犯には地域の力が不可欠です。犯罪や暴力を退ける、みなさんのやさしいまなざしをぜひ、地域に注いでください。